

ハンガリー ブダペスト商科大学

[2018年9月～2018年10月分]

経済学部3年 永井雅也

初めまして。現在、私は日本から約9000km離れたハンガリーにあるブダペスト商科大学(BBS)で学んでいます。今年の9月から来年の1月末までブダペストに滞在する予定です。

このレポートを通して、現地での生活について紹介していきたいと思います。



<寮での生活>

10月現在、私は大学の隣にある学生寮に住んでいます。寮では2人で1部屋を共有し、トイレ、シャワー、キッチンは共用です。寮に住んでいる学生の数は200人以上で、ハンガリー、中国、台湾、インド、シリア、ジョージア、南アフリカなど多様な国籍を持っています。お互いに母国語での挨拶の言葉を教えあうなどして寮生活ならではの環境を楽しんでいます。

入寮直後は部屋には寝具しかないため、寮の近くにある停留所からバスに乗って15分ほどの örs vezér tere と呼ばれる駅にある IKEA で大体の生活用品を揃えることとなります。また、IKEA の近くには ÁRKÁD というショッピングモールもあります。そこにはフードコートや H&M、ドラッグストアなど様々なショップが入っているので、時間を見つけてはよく通っています。

ほとんどの学生は公共交通機関の定期券を買うことになり、学生割引で1ヶ月 3450Ft と非常に安く手に入れることができます。この定期券ではブダペスト市内のバス、電車、地下鉄、トラム、ボートに乗ることができるので非常に便利です。地下鉄内では乗客を対象に、抜き打ちで乗車券のチェックに遭うことがあります。その際に定期券と学生証を持っていなかった場合は罰金を科せられる可能性があるため注意しましょう。

他の留学生にはブダペストの中心地でルームシェアをしている人もいますが、中心地から大学までは電車やバスを使って1時間程かかるため、大学の近くに住むことのできる寮は非常に助かります。

<授業>

留学生が授業の履修登録をする際は、大学のコーディネーターから送られてくる留学生用授業リストから好みの授業を選択することになります。しかし、自分の履修したい授業が開設されない場合もあるため、万が一に備えて多めに取ることにしました。経済学、経営学、貿易論、法律、会計、マーケティングなどの授業を受けることができます。最初の1週間はそれぞれの授業でガイダンスとして授業の進め方やテストについての説明があります。

先生方それぞれの英語に特徴があるため、最初は授業内容をあまり聞き取れませんでした。対策として毎回ボイスレコーダーで先生の声を録音して授業後自室で何度か聞き返し、早くなれるよう努めています。また、先生によっては「Coospace」と呼ばれる共有ページに、授業で使われた資料を配布してくれるため復習する際にとても役に立ちます。

私は留学前に本学でハンガリー語の授業を履修していたのである程度の知識は持っていましたが、ハンガリー語を現地で学べる最高の機会なのでBBSでも留学生向けのハンガリー語のクラスを履修しました。ハンガリー語に限らず、語学の授業は1クラス15人ほどの少人数体制で進んでいきます。まず挨拶から始まり、自己紹介、ハンガリーの歴史、レストランで使えるもの等、現地の生活で役に立つ表現を学びます。

<終わりに>

ハンガリーの物価は日本と比べて半分以下なので生活費を抑えることができますが、肥満対策のポテトチップス税など意外なところで多額の税金がかかっている場合もあります。

街を歩くと至る所にケバブやアイスクリームが売られている光景をよく目にします。ケバブもアイスクリームも大好物なので既に何度も口にしました。ブダペスト市内には日本食レストランやアジア食品店もたくさんあるので、日本食が恋しくなった際には重宝しています。





毎週金曜日には日本語を勉強しているハンガリー人と日本人の交流イベントがあります。そこでは、私のような留学生や現地で働いている人、旅の途中でハンガリーに寄った人など多くの日本人とも会うことができます。勉強だけでなく異国の地で様々な人々と出会えることも留学の魅力のうちの一つです。

また、以前城西大学に留学していたハンガリー人の学生とブダペストで再会することもできました。ブダペスト市内を案内してもらったり、彼の応援しているサッカーチームの応援に参加したりと、今度は私がハンガリーを訪れたことでさらに親交を深めることができ、とても嬉しく思います。